

☆放課後子ども教室☆

木々の葉の緑も濃くなり、虫たちの活動も活発になってきました。リラ冷えも過ぎ、緑のじゅうたんが敷かれた田んぼ。初夏の景色はととてもさわやかですね。この時期の子どもたちは運動会シーズン真っただ中。ただいまと帰ってくると、その日の運動会の練習の様子を色々と話してくれています。

運動会に向けて、今年は初めて走り方を楽しく学ぶプログラムを実施しました。苫小牧市内でスポーツクラブを行っている『とまこまい・あそび塾』より講師の先生にお越しいただいたり（いずれも高学年の活動日）しながら、速く走るためのコツを伝授してもらいました。腕を良く振ること、太ももを高く上げること、歩幅を大きくすること。教わったことはすぐに実践して身につけていきます。「オニごっこや習い事のスポーツをするときも、これらのことを意識すると速く走れるようになって、走るのが楽しくなると思うので運動会も頑張ってください」と講師の先生から激励を受けました。運動会では練習の成果が出せたでしょうか？



真剣に話を聞いて、レッツトライ！

6月のプログラムでは、コミュニケーションミニゲームと題し、自分が持っている情報を相手により良く伝えるためにはどうすれば良いのか、チームで考える遊びや、身近な素材を使つての実験教室などを行いました。コミュニケーションゲームでは、カードを一人一枚引き、そこに書いてある単語を手がかりに仲間を集めるゲームや、言葉と動きで伝えるジェスチャーゲームを実施。チームごとに出されたお題に対し、4つのヒントを考えて、そのお題を他のチームに当ててもらうゲームでは、どうすれば相手にわかってもらえるかをみんな真剣に考えている姿が印象的でした。あるチームではお題に対して『ブラジル』『4年に1度』『本田』『日本代表』というヒントを考えました。子どもたちはすぐに答えがわかったようです（ちなみに、お題は『サッカーワールドカップ2014』でした）実験教室では、液体が固体に変化する不思議を体験。低学年は牛乳と生クリームを合わせてペットボトルに入れて振り混ぜると固まってバターになっていく実験を、高学年では温めた牛乳に酢を入れると塊りができはじめ、カッテージチーズ（牛乳豆腐）ができるという実験をしました。子どもたちはお互いにアイデアを出し合い、考えたことを実際に試していくという作業を楽しんでいる様子でした。どうして液体だった牛乳が固まったのか、それは宿題にしてあります。遊びの中に「なぜ、そうなるのか？」という好奇心のタネをたくさんまいていきたいと思います。



みんなで協力して
1つの絵を完成させます。



どうすれば相手に伝わるかな？



ジャンケンゲームも白熱！



頑張ったらバター完成☆
固めるには冷やす？温める？

6月8日（日）に放課後食育プログラム【あつまっ子ふるさと体験教室】という特別教室を行いました。農協青年部のみなさんにご協力をいただき、農家さんのお仕事について体験的に学んだ子どもたちは「お米を育てるのには色々な機械を使うんだと初めて知った」「ぬかるむ田んぼの中でも青年部のお兄さんたちはまっすぐに歩けるのがスゴイと思った」など色んな発見をしたようです。子どもも大人も一緒になって楽しみ、終始、和やかな雰囲気が流れる活動となりました。ご協力いただいた皆様にあらためて感謝申し上げます。次回は夏休み明けに畑作をテーマにした活動を予定しています。

